

主を命の木として食べ、命の路線にあって生きる

聖書：創 2:9. ヨハネ 1:4. 10:10 後半. 14:6 前半. I コリント 15:45 後半.

II コリント 3:6. 啓 2:7. 22:1-2

I. 命の木が表徴するのは、三一の神がキリストの中に具体化されていて、食物の形における人の命であるということです——創 2:9. ヨハネ 1:4. 10:10 後半. 14:6 前半. I コリント 15:45 後半. ヨハネ 6:35, 57 :

- A. 神が人を命の木の前に置いたことが示しているのは、人が神を有機的に食べ、また新陳代謝的に彼を吸収することによって、彼を命として受け入れることを神が望んでいたということです。それは神が人の存在の構成要素そのものとなるためでした——参照、5:39-40. II コリント 3:6。
- B. 命の木が命の水の川の両側に生長していることは、それがぶどうの木であることを示します。キリストはぶどうの木であり、また命であるので、彼は命の木です——啓 2:7. 22:1-2. ヨハネ 15:1. 14:6 前半。
- C. キリストは、肉体と成ること、十字架、復活の手順を経ました。それは人が命を持ち、彼を食べることによって生きるためです——10:10 後半. 6:51, 57, 63。

II. わたしたちは以下の方法で主を命の木、すなわちわたしたちの霊の食物として食べることができます :

- A. わたしたちは彼の言葉を食べることによって彼を食べることができます :
 - 1. 「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる」——マタイ 4:4。
 - 2. 「あなたの言葉は、わたしのあごに何と甘いことでしょう！ 蜜よりもわたしの口に甘いのです！」——詩 119:103。
 - 3. 「すると、彼はわたしに言われた、『人の子よ、あなたが見つかるものを食べなさい。この巻物を食べ、行って、イスラエルの家に語りなさい』。そこで、わたしが口を開くと、彼はわたしにその巻物を食べさせた。そして、彼はわたしに言われた、『人の子よ、わたしがあなたに与えているこの巻物で腹を養い、あなたの内側の各部分を満たしなさい』。わたしがそれを食べると、それはわたしの口に甘いこと蜜のようであった。彼はわたしに言われた、『人の子よ、イスラエルの家に行って、わたしの言葉を彼らに語りなさい』」——エゼキエル 3:1-4。
 - 4. 「あなたの言葉が見いだされて、わたしはそれを食べました。あなたの言葉はわたしにとって、心の楽しみ、また喜びとなりました。エホバ、万軍の神よ、まことに、わたしは、あなたの御名によって呼ばれているのです」——エレミヤ 15:16。

5. 「わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる……命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命である」——ヨハネ 6:57, 63。
- B. わたしたちは御父のみこころを行なうことによって彼を食べ、地上で神・人の生活をするにおいて御父の栄光を現すことによって飢え渴いた者たちを満足させることができます——マタイ 24:45-47：
1. 「わたしの食物とは、わたしを遣わされた方のみこころを行ない、彼のみわざを成し遂げることである」——ヨハネ 4:34。
 2. 「わたしは、あなたがわたしに行なわせようとして与えられたわざを成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました」—— 17:4. 参照、コロサイ 1:9-11。
- C. わたしたちは正しい人々と接触することによって彼を食べることができま——レビ 11:1-3, 9, 13, 21：
1. 食べることはわたしたちの外側の物と接触し、それらをわたしたちの中へと受け入れることです。その結果、それらは最終的にわたしたちの内なる構成となります。
 2. レビ記第 11 章において、すべての動物はさまざまな種類の人々を表徴し、食べることはわたしたちが人々と接触することを表徴します——参照、使徒 10:9 後半-14, 27-29。
 3. 神の民は、聖なる神が要求する聖なる生活をするために、接触する人々の種類について注意深くなければなりません——参照、レビ 11:46-47. I コリント 15:33. II コリント 6:14-18. II テモテ 2:22：
 - a. ひづめが分かれていて反芻する動物（レビ 11:3. 参照、4-8, 26-28 節）が表徴するのは、行動において識別があり（ピリピ 1:9-10）、多くの再考慮をもって神の言葉を受け人たちは（詩 119:15）。
 - b. ひれとうろこを持つ水生動物が表徴するのは、この世で自由に行動し、活動して、同時にその影響に抵抗することができる人たちは（ひれは魚が水中で随意に行動し、活動するのを助けます。うろこは魚を保護し、魚が水中で生きて塩漬けにされることから守ります）——レビ 11:9。
 - c. 飛ぶための翼を持ち、命の種を食物の供給として食べる鳥が表徴するのは、この世から離れ、超越した命の中で生き行動することができ、命のものを命の供給とする人たちは—— 13 節。
 - d. 羽があって、足の上にももを持ち、地を跳びはねる昆虫が表徴するのは、この世を超越する命の中で生き行動することができ、自分自身をこの世から守ることができる人たちは—— 21-22 節。
- D. わたしたちは一の唯一の立場の上で集まるとき、彼を祭りとして享受する

ことよって彼を食べることが出来ます：

1. イスラエルの子たちは二つの方法で地の産物を享受することができました。一般的で個人的な方法は、いつでもどこでも、だれとでも、それを一般的な分け前として享受することでした（申 12:15）。特別で団体的な方法は、すべてのイスラエル人と共に、定められた祭りにおいて、神が選ばれた唯一の場所で最高の分け前、すなわち初穂と初物を享受することでした（5-7, 17-18 節）。
2. 同様に、新約の信者たちがキリストを享受することには二つの面があります。それはいつでもどこでもキリストを享受するという一般的で個人的な面と、一の唯一の立場で、すなわち神が選ばれた場所で、正当な召会生活の集会において、キリストの最高の分け前を享受するという特別で団体的な面です——コロサイ 1:12. I コリント 14:26。

III. 命の木の原則は神に依存する原則です。それは全聖書を通して、命の路線にあって生きた人たちによって見られています：

- A. アベルは、神の方法で神と接触しました——創 4:4。
- B. セツとエノスは、主の御名を呼び求めました—— 26 節。
- C. エノクは、神と共に歩みました—— 5:22-24。
- D. ノアは、神と共に歩み、神と共に働きました—— 6:8-9, 14。
- E. アブラハムは、神の現れの中に生き、主の御名を呼び求めました——使徒 7:2. 創 12:7-8. 17:1. 18:1. ヤコブ 2:23。
- F. モーセは、神の現れと臨在の中に生きました——出 3:2, 16. 33:11, 13-15. 25:9。
- G. イスラエルの子たちは、主の臨在の中で行程を行きました—— 13:21-22. 民 14:14。
- H. ヨシュアは、主の臨在の中に生き、働きました——ヨシュア 1:5-9。
- I. ギデオンは、主の臨在の中で、主の臨在をもって戦いました——士 6:12, 16。
- J. サムエルは、祈り、主を呼び求めました——サムエル上 12:23. 15:11. 詩 99:6. エレミヤ 15:1。
- K. ダビデは、神に信頼し、神を仰ぎ望み、神の命を享受しました——サムエル上 17:37, 45. 30:6. 詩 27:4, 8, 14. 36:8-9。
- L. ダニエルは、極みまで主に依り頼むことにおいて、絶えず祈り、継続して主と接触しました——ダニエル 2:17-23. 6:10-11. 9:2-4. 10:1-3, 12。
- M. 主イエスは、命の木として、また神の御子として、御父のゆえに生きました——ヨハネ 6:57. 14:10。
- N. 新約の信者たちは、主を食べることによって、また主の中に住むことによって、主のゆえに生きます。それは主が彼らの中に住むためです—— 6:57. 15:5。
- O. パウロは、主を生かし出して、主を大きく表現しました——ガラテヤ 2:20。

ピリピ 1:19-21 前半。

- P. キリストのからだとしての召会は、キリストに依り頼み、命としてのキリストによって生きます——エペソ 1:22-23. コロサイ 3:4。
- Q. 新エルサレムは、命の木を伴う命の水の川によって維持されます——啓 22:1-2, 14, 17。

© 2011 *Living Stream Ministry*